



2024年11月13日

各位

会社名 ENEOSホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 宮田 知秀
コード番号 5020 東証プライム・名証プレミア
問合せ先 インベスター・リレーションズ部 IRグループ マネージャー
於勢 孝
(電話番号 03-6257-7075)

2025年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年5月14日に公表いたしました2025年3月期通期連結業績予想（以下、「前回予想」）を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想（A） （2024年5月14日発表）	14,600,000	400,000	380,000	210,000	70円27銭
今回修正予想（B）	14,000,000	420,000	400,000	220,000	78円22銭
増減額（B－A）	△600,000	20,000	20,000	10,000	7円95銭
増減率	△4.1%	5.0%	5.3%	4.8%	11.3%
（ご参考）前期実績 （2024年3月期）	13,856,662	464,946	448,075	288,121	95円64銭

（注）2024年8月9日公表の通期の連結業績予想では、5月14日公表を据え置きました。

2. 修正の理由

前回予想以降、円の為替相場および銅価格が前回予想の前提より高水準で推移していることにより、営業利益は4,200億円（前回予想比200億円の増益）、親会社の所有者に帰属する当期利益は2,200億円（前回予想比100億円の増益）となる見通しです。

なお、在庫影響[※]を除いた営業利益相当額は、以下のとおり、4,200億円（前回予想比200億円の増益）となる見通しです。

[※] 総平均法及び簿価切り下げによるたな卸資産の評価が売上原価に与える影響

<在庫影響を除いた営業利益相当額>

（単位：億円）

	前回予想	今回予想	増減額
営業利益	4,000	4,200	200
在庫影響	0	0	0
在庫影響を除いた営業利益相当額	4,000	4,200	200

事業セグメント別では、石油製品ほか事業において輸出マージンの悪化等により前回予想比 150 億円の減益、電気事業は販売マージンの良化等により 110 億円の増益、再生可能エネルギー事業は発電設備の耐用年数見直し等により 40 億円の増益、金属事業は円安や銅価格上昇等により 200 億円の増益を見込んでおります。

<事業セグメント別 営業利益内訳>

(単位：億円)

	前回予想	今回予想	増減額
石油製品ほか事業	1,900	1,750	△ 150
機能材事業	110	110	0
電気事業	60	170	110
再生可能エネルギー事業	△ 30	10	40
石油・天然ガス開発事業	800	800	0
金属事業	700	900	200
その他	460	460	0
合計	4,000	4,200	200

本見通しは、通期平均で原油価格（ドバイ原油）；バーレル当たり 81 ドル（10 月以降 80 ドル）、銅の国際価格（LME 価格）；ポンド当たり 422 セント（10 月 430 セント、11 月以降 410 セント）、円の対米ドル相場；149 円（10 月以降 145 円）を前提としております。（前回予想：原油価格；バーレル当たり 80 ドル、銅の国際価格；ポンド当たり 380 セント、円の対米ドル相場；145 円）

（注）本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。かかる要因としては、（1）マクロ経済の状況又はエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化、（2）法律の改正や規制の強化、（3）訴訟等のリスクなど、が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

以上